



『校内生活体験発表大会』で思いを語る



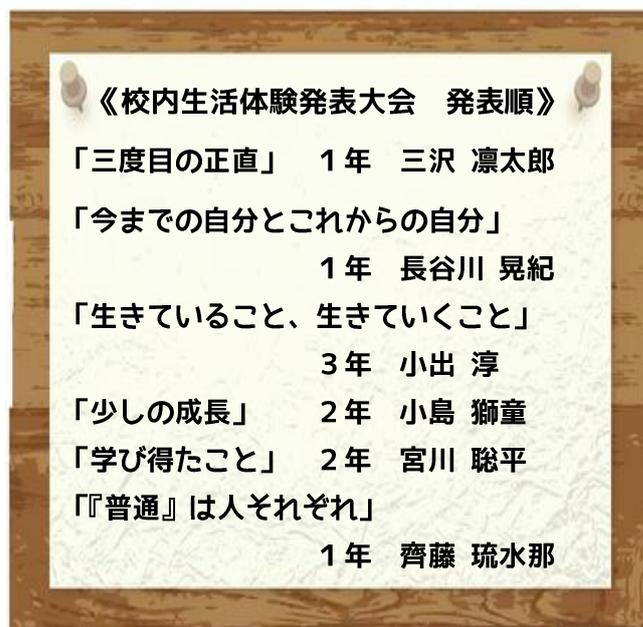
8月29日(木)に「校内生活体験発表大会」が開催されました。夏休み前から全員が自分自身のこれまで体験したこと、その際に感じたこと、考えたこと、また将来に向けての希望など、自らの言葉で作文をしてきました。そしてその中から6名がクラス代表として、みんなの前で発表してくれました。1年生は中学校の不登校の頃に抱えていた思いや考え、そして高校に入学してからの希望について、2年生は校内で先輩になり、またアルバイト先で責任ある立場になることで大人になりつつあることについて、3年生はこれまでの自分自身を振り返り、高校卒業後の進路についてでした。

今回、普段知ることがない仲間のことを知り、また自分自身を振り返りそれを言葉に表す良い機会だったのではないのでしょうか。

最優秀賞は、3年生小出淳さんの「生きていること、生きていくこと」でした。9月5日(木)に長野市民芸術館で開催される北信高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に本校の代表として発表しました。



▲ 最優秀賞の3年小出 淳さん



祝 県大会出場



9月5日(木)に長野市民芸術館メインホールを会場に、第58回北信高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が開催され、本校代表として3年小出 淳さんが出場しました。

北信地区の定時制通信制高校の代表者7名が、自らの貴重な体験をステージ上から堂々と発表してくれました。

本校代表の小出さんは、優秀賞を受賞し、10月5日(土)に駒ヶ根市地域交流センターで開催される第53回長野県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会に北信地区代表として出場することとなりました。おめでとうございます。



▲ ステージ上で堂々と発表



▲ ステージ上での記念撮影 (中央)



夏休みの思い出 その1 メンタルヘルス講話



夏休み中に2回学校に登校することとなっており、8月1日(木)はメンタルヘルス講話が行われ、8月19日(月)は花火大会が行われました。

メンタルヘルス講話では、「8羽のオウム」を生徒・職員が演じ、物事に対する対応の仕方や考え方で「幸せ」や「前向き」、「つまらない」など違ってくことを学びました。

「同じ出来事でも、こんな風に思うといいんだなあ」ということを知ることができたのではないのでしょうか。



▲生徒や先生が8羽のオウムを見事に演じていました



夏休みの思い出 その2 花火大会



夏休み中に2回目の中間登校日8月19日(月)の夕方に昨年度同様に生徒会企画の花火大会を実施しました。生徒一人ひとりが手持ち花火で楽しんでいました。途中、夕立にみまわれましたが、良い夏の思い出になったのではないのでしょうか。



総合的な探究の時間 『中庭園藝』 秋野菜種まき



「総合的な探究の時間」として、本校の中庭やテニスコート脇の空き地を利用した『エディブルガーデンづくり』の夏野菜づくりが夏休みでひと段落し、今回は根菜を中心とした秋野菜づくりを始めました。

講師である坂口則夫氏(エディブルガーデンラボ代表理事)のご指導の下、夏野菜の収穫後の片づけや草取り、秋野菜用の畝作りを行いました。種をまくために各畝に2本ずつ溝を作るのですが、最初は初めての作業で思うようにいかず、何度かやり直していた1年生も、回数を重ねるに従ってコツをつかみ、やり方を自ら工夫することで、上手くできるようになっていました。11月頃が収穫期のため、それまでに無事に成長してもらいたいです。



▲畝に種まき用の溝づくり



▲3 cmおきに丁寧に種まき



▲種をまいた後、薄く土をかぶせる